

《キャリアイメージ》

区分	環境分野技術職(化学・環境工学等)		
	異動・配属の考え方	必要とされる知識・能力	受講すべき研修等
新規採用	<p>基礎的な技術・知識の習得や適切な指導を受けることに適した所属に配属する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【本庁】 環境政策課、環境活動推進課、水大気環境課、自然環境課、地球温暖化対策課、資源循環推進課</p> <p>【地方機関】 東三河総局、県民事務所、環境調査センター</p> </div>	<p>【採用3年目まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境局技術職員としての基礎固め ・環境関係法令の基礎知識 ・届出事務に必要な法令等の基礎知識 ・事業場等の指導に必要な公害防止技術の基礎知識 ・測定技術、試料採取技術 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>【基礎研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境基礎研修 ②分野別基礎研修 <ul style="list-style-type: none"> ・届出事務等 ・公害防止基礎技術 ・簡易測定/検体採取 ・その他 ③環境調査基礎研修 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【応用研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①分野別応用研修 <ul style="list-style-type: none"> ・公害防止応用技術 ・立入/事業者指導 ・測定/検体採取 ・緊急時/事故時対応 ・法改正時 ・その他 ②事務所研修 ③環境調査応用研修 </div>
技師・主任 (採用後8年間)	<p>幅広い視野や専門的な技術・知識を応用できる能力を習得するとともに適正を見出すため、下記の内容により計画的に異動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本庁と地方機関を経験する。 ② 3ヶ所の所属を経験する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>【本 庁】 ・環境局本庁各課</p> <p>↔</p> <p>【地方機関】 ・東三河総局、県民事務所 ・環境調査センター</p> </div>	<p>【採用8年目まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用力のある実践的な知識 ・事業場等の指導に必要な公害防止技術の専門知識 ・的確な監視指導を行うための立入技術 ・緊急時/事故時に対応するための知識 	
主任級 (9年目以降)	<p>職務分野の偏りが無いように幅広い職務経験を積み重ね、適性を見出すとともに、実務の中心的役割を担う職員を目指す。</p>	<p>【採用9年目以降主査級昇任まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い職務経験 ・実務の中心的役割を担うために必要な知識・能力 	
主査級	<p>課題を設定し自ら取り組むことにより、環境分野技術職としての能力・資質に磨きをかけ、後輩の指導・育成とともに、実務の中心的役割を担う職員をめざす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県民、関係機関、業者等に対する説明、交渉、調整力 ・計画の策定、施策の立案・実行力 ・許認可申請者に対する適切な指導力 ・調査、分析結果の利活用 	
課長補佐級	<p>環境分野技術職として、高い専門知識・技術力と高度な企画・交渉・調整能力を持ち、総合的な視点から判断し行動することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県民、関係機関、業者等に対する高度な説明、交渉、調整力 ・計画の策定、施策の立案・実行時の高度な判断力 ・許認可申請者に対する高度な指導力 ・調査、分析結果の高度な利活用 	
課長補佐 (グループ班長)	<p>グループ班長として、幅広い視野とバランス感覚を有し、専門分野のリーダーとしての役割を担って業務推進するとともに、人材育成など組織マネジメントを行う。</p>		
備考 (その他関連措置)			